

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：11 回

(2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会、CPD 委員会の 2 委員会で構成されている。RCCM 資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD 委員会には CPD 推進専門委員会と CPD 監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM 資格制度委員会

試験検討 WG、更新講習 WG、技術者資格 WG を中心に活動を行った。

なお、RCCM 更新登録に必要な CPD 単位数の 150 単位/4 年から 200 単位/4 年への移行は、令和 7 年度からとしている。

① 試験検討 WG

令和 3 年度に移行した CBT 方式による試験実施状況・出題内容について国土交通省技術者資格登録の要件適格性を確認するとともに、問題作成者や採点者等にアンケートを行い、CBT 方式試験の対応作業における改善点を把握した。

② 更新講習 WG

WEB 講習に移行した登録更新講習のコンテンツの更新・拡充（8 コンテンツ追加し 21 コンテンツに）を行うとともに、更新のあり方などを検討した。

③ 技術者資格 WG

令和 4 年度は、4 施設分野 9 技術部門の登録更新申請を行った。

④ 自主学習システム専門委員会

更新登録に使用する建設一般 4 教材と専門技術 22 教材の自主学習教材について、原稿の審査など行った。教材は、部分的な改訂を行い、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を充実させた。

b) CPD 委員会

協会会員の CPD 取得支援、CPD 監査の実施と結果の分析、CPD の改定・CPD 形態の追加、関係学協会との連携による CPD 活用を中心に活動を行った。

① 協会会員の CPD 取得支援

コロナ禍の影響により、CPD 取得が困難な状況が続いたが、協会 HP にセミナー動画をより多く配信することにより、CPD 取得機会を増加させた。動画配信は、会員企業のニーズ、テーマの妥当性等を勘案して、34 時間の CPD 対象となる 12 セミナーの視聴を可能にした。

② CPD 監査の実施と結果の分析

令和 3 年度の CPD 記録登録者 200 名（記録数 3,928 件）を対象に実施した。教育形態別の記録状況は社会状況の影響から自己学習が最多 33.1%、続いて企業研修が増加傾向で 22.9%、講習会等への参加は 19.7%とコロナ禍以前の半分程度となった。監査結果は、記録の不備が僅かに残るが、システム等の改善に伴い低水準で減少傾向にあり、CPD システムは適切に運用されていると判断できる。

③ CPD 解説書の改定・CPD 形態の追加

教育分野・分類の多様化や Web 講習対応など監査活動を通じ、利用者の CPD 登録を適正化するため CPD 解説書（2023 年 4 月第 9 版）を改正した。また、CPD 登録対象の技術資格を検討し、対象資格を追加した。

④ 関連各協会との連携による CPD 活用

技術士（CPD 認定）制度の開始、技術士資質能力への「継続研さん」の追加などに対応すべく CPD 活用を支援していく。

2. 次年度の活動について

新たな中期行動計画の施策「適正な資格制度の充実」や「自立した技術者の育成支援」などの実現に向けて、今年度の活動を拡充充実し継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1～8-6-5 に示す。

（資格・CPD 部会部会長 高橋 努）